

平成 28 年度 沖縄国際大学 うまんちゅ定例講座

「しまくとぅばルネサンス」第 13 回 最終回

テーマ：「琉球諸方言の継承は可能か-何をすれば可能になるのか-」

概要：

シマクトゥバをとりまく状況は、2006 年 3 月に沖縄県議会のしまくとぅば条例決議、2009 年のユネスコによる琉球諸語の消滅危機言語指定という衝撃的な発表当時に比べ、シマクトゥバの継承活動が喫緊の課題であることの認識が定着している。以前に比べれば、傍目には継承のための活動は盛んになされている。しかし、50 年後にもシマクトゥバが使われ続けるだけでなく、若者にとって魅力ある言語であり続けるために何かをしなければならない。

講義では、シマクトゥバがさしあrawすものを考え直すことから始めたい。そしてコトバのもつ機能が何かを改めて考え、真のシマクトゥバの継承とはどういうことか、そのために必要なことは何かを提案する

講師：狩俣 繁久（琉球大学 法文学部 教授）

日時：平成 28 年 10 月 22 日（土）午後 2 時～午後 4 時

場所：沖縄国際大学 5 号館 107 教室